

世界債券プラス型(CS)特別勘定 運用状況(2010年12月末現在)

運用方針

- 主に内外の高格付け債券ならびに高利回り債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、積極的に高い投資成果を目指します。
- 高格付け債券に50%程度、高利回り債券に50%程度投資することを基本とします。ただし、市況動向等を勘案して、当該配分を変更することがあります。
- 原則として為替ヘッジは行いません。
- 運用にあたっては、運用スタイルの分散や運用会社の固有リスクの分散を図るため、基本的に当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、各特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行っていきます。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	834,159	98.2%
現預金・その他	14,919	1.8%
合計	849,078	100.0%

運用状況

2010年12月の世界債券市場はCitigroup WGBI(現地通貨ベース)で0.42%下落しました。米国債券市場では良好な経済指標や減税延長法案の合意等を受け、上旬、長期金利は上昇基調(価格は下落)で推移し、一時3.5%台前半まで上昇しました。中旬以降は欧州周辺国の財政懸念が強まり、長期金利が低下基調(価格は上昇)での推移となり、月を終えました。ドイツの債券市場では上旬、ECBが国債買取の継続を決定したこと等を背景に、長期金利は上昇基調(価格は下落)で推移しました。下旬は欧州周辺国の財政懸念が強まり、長期金利はやや低下しての推移となりました。このような市場環境の中、当特別勘定は2.13%下落しました。

現在、高格付け債券部分については、「グローバル・ボンド・ファンドVA」、高利回り債券部分については、「フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド」に投資しています。

12月は資金移動に合わせて、「グローバル・ボンド・ファンドVA」の購入を行いました。

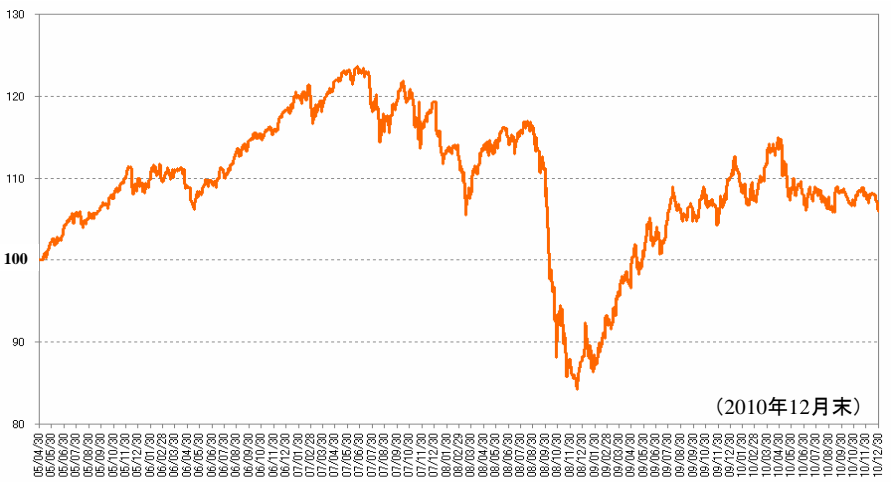
1月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定率
105.89361368	▲2.13%	▲2.36%	▲0.83%	▲3.88%	▲11.24%	+5.89%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(100)として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2005年5月1日)



ポートフォリオの状況

[基本配分]

高格付け債券 50%程度
高利回り債券 50%程度

[組入れ投資信託(投資比率)]

グローバル・ボンド・ファンドVA (48.3%) : p15上段
フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド (49.9%) : p16上段
現預金・その他 (1.8%)

(注)「p15上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。